



保健目標

手をきれいに洗いましょう

園での手洗いの取り組み

光明学園の看護師会では毎年手洗いの保健指導を実施しています。手が汚れるタイミングを知り、自ら手を洗おうとする気持ちを育み、手洗いの必要性を理解して、正しい手洗いを習慣化できるよう取り組んでいます。



内科健診のお知らせ

5月27日(水) 10時頃～
上記の日程で前期の健診を行います。園医に質問がある際は、事前にお知らせください。



ほけんだより

第459号 令和8年5月1日 光明第七こども園

新学期が始り、1か月が経ちました。子どもたちは少しずつ園での環境に慣れ、楽しく遊ぶ姿や給食をおいしそうに食べる姿が多く見られるようになってきました。さて、今月は手洗いと睡眠について紹介致します。



手洗い

外から帰ってきた後、遊びの後、食事やおつの前に手洗いをしましょう。30秒くらいかけて、隅々まで丁寧に洗うことが大切です。

0歳児 手をふいてもらう

離乳食が始まったら、「きれいにしようね」と声をかけながら、食事やミルクの前は必ず手をふきます。

1歳児 手を洗ってもらう

「ごはんだから手を洗おう」と声をかけて手洗いに誘います。大人がせっけんをつけていねいに洗い、ふいてあげましょう。



2歳児 自分で洗えるようになる

自分で水を出し、せっけんをつけて大きめに洗い、流し、ふくことができますが、きちんと洗うためには、見守りと声かけが必要です。



3歳児 しっかり洗える

「手を洗おう」と声をかければ、自分で正しい洗い方ができますが、洗った後のチェックは必要です。



正しい手洗いしてますか？



爪はきれいかな？



子どもたちは様々な物に触れるため、爪の中に汚れが入ったり、伸びていると欠けたりしてしまいます。汚れが溜まると炎症を起こし、爪の病気になるので、手洗いで落としきれない汚れは、お風呂できれいに落としてあげましょう。



また、爪が長いとどこかにひっかけてしまったり、お友達を傷付けてしまうことにもなりかねません。おうちでは定期的に切ってくださいようお願いいたします。

眠る時にひそむリスク

睡眠は乳幼児にとって生活リズムを整え、疲れた身体と頭を休ませる大切な時間です。それと同時に、睡眠中はSIDS(乳幼児突然死症候群)の発症やブランケットやタオルなどによる窒息の重大な事故が起こる危険性もあります。園のお昼寝では、仰向けに寝かせうつぶせ寝にならないよう注意しています。また、睡眠センサーをつけ、睡眠中の様子を細かく観察し、記録を付け見守りを強化しています。ご自宅でも仰向けをお勧め致します。

